みんなの健康を, みんなで守る

禁煙支援セミナー 「禁煙支援の困りごと解決! スキルアップセミナー」 開催報告

地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター 阪本康子 川畑輝子 中村正和

ヘルスプロモーション研究センターでは、今年度、3回のセミナー開催を企画し、第1弾として6月15日(水)に開催したフレイル予防セミナーについて、本誌11号で報告した¹⁾. 今回は、第2弾として8月20日(土)に開催した禁煙支援セミナーの内容を報告する.

開催の背景と目的

当センターでは、日本禁煙推進医師歯科医師 連盟と協働して、eラーニングを活用した禁煙 支援・治療の指導者トレーニング(I-STOP)の 開発・普及を行ってきた. 年間3~4ヵ月の期間 限定で開講し、毎年800~1,200人が参加してお り、これまでの参加者総数は約9,000人にのぼ る. 全国の保健医療関係者が個人または施設 単位でまとまって参加するだけでなく、最近は 医学生等の学生教育にも利用されるなど、ト レーニングへのニーズは引き続き高く維持され ているが、eラーニング学習管理システムの経費 が課題であった. そこで、eラーニングより経 費が安価なWEB学習教材に改変するとともに. 最近のトピックなどから新しいコンテンツを追 加して、2022年8月から新たに通年で学習可 能なWEB学習教材を「J-STOPネクスト」とい う名前で公開した. 本セミナーは、この[J-STOP ネクスト |の公開を記念して開催した.

セミナーではJ-STOPネクストの概要を紹介するとともに、「禁煙支援なんでも相談」として、

日常診療や健診, 禁煙外来などの場で直面する疑問や困りごとに専門家が回答し, 参加者の禁煙支援・治療のスキルアップを図ることを目的とした.

申込者の属性となんでも相談で 取り上げてほしいテーマ

369名から参加申し込みがあった. 申込者の 職種の内訳は医師, 保健師, 看護師で全体の 約80%(44%,27%,12%)であった. 勤務先は, 病 院または診療所52%, 企業20%, 健診施設12%の 順に多かった.

申し込みの際に、なんでも相談で取り上げてほしいテーマを複数回答で選択してもらったところ、「加熱式たばこ使用者への対応」や「無関心層への対応」がそれぞれ70%を越えた。また、2021年6月から保険適用の禁煙補助薬であるバレニクリンが不純物混入の問題により出荷停止の状況にあったこと、禁煙治療へのオンライン診療の導入(2020年度診療報酬改定によるオンライン診療の一部導入、2022年度改定に伴うかかりつけ患者への初診からのオンライン診療の導入)を受けて、「バレニクリン出荷停止下での禁煙治療」、「オンライン診療による禁煙治療」の回答も多かった。

当日の参加方法は完全オンラインで、269名 が参加した。

1110(62) 月刊地域医学 Vol.36 No.12 2022



WEB学習教材「J-STOPネクスト」 の概要

まず中村正和センター長より、J-STOPネクストの概要について、以下の説明があった。

J-STOPネクストは、有効性が確認されたe ラーニングの学習内容²⁾をもとに作成したWEB 教材であり、禁煙支援や治療に必要な知識を学 習するほか、仮想の面接や症例検討などを用い た演習により、実践に役立つ知識やスキルを学 ぶことができる.

次に、新しいコンテンツの中から、禁煙支援における行動科学、ニコチン依存の脳科学、ICTを用いた禁煙治療、喫煙と感染症の4つの講義動画をとりあげ、それぞれの動画のハイライト部分を2分程度で紹介した上で、講義を担当した谷口千枝先生、野村英樹先生、飯田真美先生(所属は後述)、中村正和センター長からポイントをライブで解説していただいた。

禁煙支援なんでも相談

「禁煙支援なんでも相談」では、事前に寄せられた日常診療での禁煙支援や禁煙外来での治療における困りごとについて、中村正和センター長ほか以下の6名の専門家の先生方に回答していただいた。

大島 明先生 (大阪国際がんセンター 特別研究員) 飯田真美先生 (岐阜県総合医療センター 副院長) 加藤正隆先生 (医療法人かとうクリニック 院長) 川合厚子先生 (公徳会トータルヘルスクリニック 院長) 谷口千枝先生 (愛知医科大学 准教授) 野村英樹先生 (金沢大学 特任教授)

現場での困りごととして事前に寄せられた400件を超える困りごとから、頻度の多かった質問を19に整理し、それぞれの質問に複数の専門家がエビデンスや診療経験をもとにライブで回答した(表1). ライブ配信中にも質問が寄せられたが、それらの質問の多くについても、対応していただいた.

セミナー後、禁煙支援なんでも相談の内容を

表 1 禁煙支援なんでも相談で取り上げたテーマと質問

テーマ	質問
	① バレニクリンの出荷停止、ニコチンパッチの品薄状況の改善の見通しを教えてください。
停止下での禁煙	② バレニクリンを使用しない禁煙治療の方法とその効果を教えてください。
治療	③ 今後再び、医療用の禁煙補助剤が使用できなくなった場合、ニコチン依存度の高い喫煙者にどのように治療
	すればよいでしょうか。
	④ 以前ニコチンパッチで禁煙することができなかった方などに、どのような支援をすればよいでしょうか。
加熱式たばこ使	① 加熱式たばこに切り替えたことで満足している喫煙者を禁煙につなげるには、どうすればよいでしょうか。
用者への対応	② 加熱式たばこ使用者への具体的な禁煙治療の方法を教えてください。
	③ 加熱式たばこを禁煙した場合の身体変化を数値化できる、一酸化炭素濃度にかわる指標がありますか。
	④ 加熱式たばこへの禁煙補助剤の効果は紙巻たばこと比べて違いがありますか。
	⑤ 完全禁煙へのステップとして、紙巻きたばこから加熱式たばこに切り替えることは許容されますか。
	⑥ ニコチンなしの新型たばこの健康影響や使用者への対応を教えてください。
ICTによる禁煙	① オンライン診療による禁煙治療の始め方や実施方法を教えてください。
治療	② 初診からのオンライン診療について, 対面と効果が変わらないかどうか教えてください.
	③ 保険者が実施する自由診療による完全オンライン診療について、一定の要件を満たせば、ニコチン依存テスト
	等の条件は満たさなくても利用でき、ニコチンパッチやニコチンガムの使用も可能ということでしょうか。
	④ 禁煙治療アプリの具体的な使い方やアプリ処方に適した患者の特性、アプリの効果について教えてください。
	① 無関心層が禁煙を考えるきっかけとなる効果的な声かけを教えてください。
応	② 無関心層の喫煙者に対し苦手意識を持っています。どのように関わればよいでしょうか。
	③ 職場の喫煙対策として、無関心層の動機を高める効果的な取り組みがあれば教えてください。
	① 精神疾患や薬物依存に対する効果的なサポートの方法を教えてください。
の対応	② 精神疾患に対する禁煙治療を安全に行うための留意点を教えてください。

Q&A集としてとりまとめ、セミナー後のアンケートやアーカイブ配信視聴後のアンケートに回答した方に「禁煙支援なんでも相談回答集」として提供を行っている。得られたアンケートの結果は、今後の教材の改良に役立てる。

参加者の声

セミナー開催後の参加者からは、「実際に禁煙外来を実施されている先生方のコメントがたくさん聞けて大変わかりやすかった」「無関心層への関わり方や職場の喫煙対策など今後の業務に活かせる内容であった」などの感想が寄せられた。また、「禁煙指導に係わるメンバーでJ-STOPネクストを学習していきたい」「今後も定期的に開催して、アップデートした情報を知らせてほしい」など、WEB学習教材や今後のセミナーに期待する意見があった。

セミナーの動画を当センターHPの「活動レポ」で公開している. ご視聴いただければ幸いである.

https://healthprom.jadecom.or.jp/

※活動レポの記事「『禁煙支援の困りごと解決! スキルアップセミナー』を開催しました」参照



指導者のための禁煙支援・治療のWEB学習 教材「J-STOPネクスト」は受講料無料で、年間 を通して自分のペースで学習することができる ので、こちらもぜひご活用いただきたい。 J-STOPホームページ:http://www.j-stop.jp

引用文献

- 川畑輝子,中村正和:フレイル予防セミナー「フレイル予防の新たな地域展開を目指して」開催報告.月刊地域医学 2022;36 (11):1008-1010.
- 2) 中村正和, 増居志津子, 萩本明子.他: e ラーニングを活用した禁煙支援・治療のための指導者トレーニングの有用性. 日本健康教育学会誌 2017;25(3):180-194.

1112(64) 月刊地域医学 Vol.36 No.12 2022